

7月28日(水)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza



©青柳聡

圧倒的かつ鮮やかな音世界を支える 緻密な構成力！ 7月27日 読売日本交響楽団

鈴木雅明×読響のロシア・プロ

バッハ演奏の第一人者である鈴木雅明がロシアものを振ることが発表されたとき、多くの人々が驚いたことであろう。私自身、何かの間違いかと思ったほどである。しかし同時に今年の「フェスタサマーミュージア」で特に期待を寄せる公演の一つとなり、当日はその期待を大きく上回る名演に立ち会うことができた。

まず演奏されたのはボロディンの「交響曲第2番」。鈴木は冒頭から

オーケストラを鮮やかに鳴らし、一瞬にして聴衆を自らの世界へと引き込んでしまう。音量の大きさだけではなく、全てのパートを明瞭に響かせることで力強さと共に立体感のある音楽を構築し、速めに設定されたテンポも相まって、息をつく間もなく全楽章が終わってしまった。

続くラフマニノフの「交響曲第2番」は演奏時間が1時間に及ぶ大作。非常に変化に富んだ

作品であるが、どの楽章もリズムの要素を際立たせた演奏によって音楽の方向性が非常に明確になっており、第1楽章から終楽章まで鮮やかな一本の“線”が感じられた。

鈴木と読売日本交響楽団のタッグによるロシア・プログラムは、圧倒的な音色の密度と明晰さが合わさることで、大きな感動を呼び起こすものであった。長井進之介(ピアニスト・音楽ライター)



©青柳聡

鈴木雅明(指揮)

お客様から

鈴木雅明さんのボロディン・ラフマニノフがとにかく新鮮で良かったです。プレトークも面白かったです。(60代・無職・おけらまん) / 思いがけない鈴木雅明さんのロシア・ロマン派プログラムでしたが、緻密な解釈と熱いロマンを兼ね備えた素晴らしい演奏でした。特にラフマニノフはあれだけ長大な曲の隅々まで細部が彫琢され、しかも流れを損なわず、いつまでも聴いていたいと思わせられました。(60代・会社員・KAZU) ただただ圧巻。情熱的。終わってほしくない夜でした。ヤマカズさん目当てだったけど、雅明さんに恋をしました。(50代・パート・K) / 安心・安全なライブ演奏ほど味気ないものはない、とプロのプレイヤーは心得ているだろう。予想が期待を上回るエネルギーに打たれた。速い！ブラボー、読キョー！(ミュージアさまさま(ネットより紙が好き)) / 5年ぶりの読響でした。近年の好評を耳にしつつも、なかなか生で聞く機会がなかったのですが、いやはや素晴らしい！しなやかな弦、分厚い管の響き、音圧に驚きました。鈴木雅明さんとロシアのロマン派交響曲という組み合わせがはまりました。(50代・会社員・Mar.U.)

【明日の朝刊休みます】明日(7/29)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は7/30です。

夏音クイズ vol.7

【質問】ミュージアのオリジナル「おんがくかるた」からの出題です。ミュージア川崎シンフォニーホールの中ホールアドバイザーでもある秋山和慶さんに、かるたの「へ」の札をお願いしたところ、「変拍子」について指揮者ならではの読み札を作ってくださいました。さて、次のうちどれでしょう？



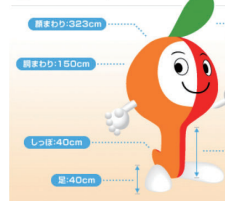
- ①変拍子 どうして合わせてくれないの
- ②変拍子 いつまでたってもはまらない
- ③変拍子 振るのはとってもむずかしい
- ④変拍子 ぴったり合うと気持ちいい

答えは次号！お楽しみに♪

前回のクイズの正解発表

7/27 ミュートンからのクイズ
答えは… ④の「つばさ」でした！

かわさきミュートンプロフィール



実はこの頭についている緑のヒラヒラは「つばさ」なんです。空が飛べるんですよ！
ミュージアの館内にもミュートンがいます。そして、今年のサマーミュージア中は意外なところに「隠れミュートン」がいますよ！ぜひ探してみてくださいね。

前売り指定席で

ランチタイムに癒しのひと時♪

MUZAランチタイムコンサート

ミュージアムシンフォニーホールでは、毎月1回平日のお昼時間に、約40分の短いコンサートを開催しています。チケットは各回ワンコイン!しかしその出演者陣は本格派。クラシックだけでなくジャズに、パイプオルガンに、と毎月バラエティに富んだラインナップが揃いました。まもなくチケット発売開始する10月~3月の公演をご紹介します!

【10月】ENEOS株式会社 Presents HALL JAZZ LIVE! 10月7日(木) 出演:ピアノ・ヴォーカル:松下聖哉 ベース:井上陽介 ドラムス:高橋信之介 今年のフェスタサマーミュージアム「サマーナイトジャズ」のプレコンサートに出演し話題となった松下聖哉(pf&vo)が日本を代表するジャズミュージシャンと共演。

【11月】JFE Presents パイプオルガン&ソプラノ~イタリア音楽のひととき~ 11月18日(木) 出演:パイプオルガン:青田絹江 ソプラノ:高橋薫子 ヴィヴァルディやマスカーニといったイタリアの名曲の作曲家を、国内外で活躍するオルガニスト・青田絹江と、新国立劇場をはじめと様々なオペラ



に出演している高橋薫子がお贈りします。

【12月】We Will Rock You! ~往年のクイーンの名曲たち~ 12月13日(月) 安宅 薫 & マティアス・ストリングス(ピアノ:安宅 薫 ヴァイオリン:齋藤真知亜、横島礼理 ヴィオラ:中村洋乃理 チェロ:村井将) 時代を越えて愛される英国の伝説的ロックバンド QUEENの名曲の数々を、ピアノ五重奏の編成でお届けします。曲間の楽しいトークも。

【1月】抱腹絶倒!?東京交響楽団ホルンで奏でる紅白歌合戦 1月19日(水) ホルン:上間善之、大野雄太 ピアノ:石井理恵 司会:チャーリー犬和田 前回2016年のランチタイムコンサートにも登場した超爆笑企画がふたたび。単なる懐メロとあなごどるなかれ、予想だにしない体験がきっとあなたをまっています。専属司会者のチャーリー犬和田さんの名調子にも期待がかかります!!

【2月】グラスハープの癒しの世界 2月15日(火) グラスハープ:大橋エリ ギター:後藤郁夫 大橋エリはこの楽器の日本における第一人者。喧騒から解き放たれ、耳を澄ませて繊細なグラスハープの音色で心安らぐ時間をどうぞ。

【3月】JFE Presents パイプオルガン&トランペット 近現代のハーモニー 3月15日(火) パイプオルガン:浅井美紀 トランペット:辻本憲一 どうしても19世紀までの作品にかたよりがちなパイプオルガンのレパートリーですが、この日は近現代のすぐれた作品を取り上げます。読売日本交響楽団首席奏者、辻本憲一の輝かしい音色にもご注目ください。

各日とも12:10開演 全席指定500円

*本年度はセット券はございません。ご了承ください。

友の会先行販売 8月19日(木)

Web会員販売 8月23日(月)

一般販売 8月23日(月)



本格的イタリアンをテイクアウト♪

今年5月、ミュージアムの隣にオープンしたカワサキデルタ。今回は、2階にある「ナポリの下町食堂」に行ってきました。テイクアウトで日替わりイタリアン弁当(700円・税込)を注文。この日のメニューは、ローストチキン・枝豆のトマトソースペンネ、カボチャサラダ、カジキの香草パン粉焼き。バランスも良く、ボリューム満点!美味しくいただきました。テイクアウトも良いですが、次回はお店でゆっくり食べたいと思います!

サマーミュージアム限定パートナーシップ優待券を利用して、コンサートの前後に川崎のグルメを堪能してみてください♪(さ)



日替わりイタリアン弁当 700円(税込)



パートナーシップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

ナポリの下町食堂 川崎店

カワサキデルタ 2F

パートナーシップ特典

お好きなジェラートひとつサービス

優待券を
ご提示下さい

サマーミュージアム公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



#サマーミュージアムで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

「ここは居心地が良いね。」「またミュージアムで演奏したい。」「感じていただけるような、コンサートホールの二平さんでありたい。」 (事業企画課かじ)

ミュージアムの舞台上で演奏する皆さまが、音楽用語にオブリガート(伊語)という言葉がある。主旋律を引き立て、独立した旋律、助奏を意味するが、バッハの時代は主旋律と同等に扱われるようだった。まもなく開催の真夏のハッハVI公演(8月1日)で取り上げる「カンタータ BWV170」のオブリガート・オルガンは、主旋律を引き立てる脇役ではなく、ソロ・アリアのよき相棒を務める。二平さんのオブリガートが大谷選手を輝かせているのかもしれない。

その大谷選手の専属通訳を務める水原一平さん。彼は通訳のほか、車の送迎やスケジュール管理をし、オールスターゲームの前日に行われたホームラン競争では大谷選手の捕手を務めるなど、まさに頼りがいのある存在だ。

エンゼルスに所属する大谷翔平選手。米大リーグで日本人選手としてシーズン最多ホームラン記録を更新し、オールスターゲーム2021で史上初の二刀流選手として出場するなど、その活躍が目覚ましい。

ほほ 日刊サマーミュージアム
Hobo Nikkan Summer Muza

スタッフ日誌